

阿南工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	日本語総合	
科目基礎情報						
科目番号	1113G01		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般教養		対象学年	3		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	高専日本語アビリティ I・II (阿南高専) / 常用漢字ダブルクリア (尚文出版)					
担当教員	坪井 泰士, 錦織 浩文					
到達目標						
1. 他者を尊重した議論を集団としてまとめ、新たな発想や視点を獲得し、自分の思いや考えを整理し、深化させて説明できる。 2. 類義語・対義語・常用漢字・故事成語を理解し、思考や表現に活用できる。 3. ビジネス敬語の基礎を理解し、使用できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベル(優)		標準的な到達レベル(良)		最低限の到達レベル(可)	
到達目標1	他者を尊重した議論を集団としてまとめ、新たな発想や視点を獲得し、自分の思いや考えを適切に整理し、深化させて適切な表現スキルにより説明できる。		他者を尊重した議論を集団としてまとめ、新たな発想や視点を獲得し、自分の思いや考えを適切に整理し、深化させて説明できる。		他者を尊重した議論を集団としてまとめ、新たな発想や視点を獲得し、自分の思いや考えを整理し、深化させて説明できる。	
到達目標2	類義語・対義語・常用漢字・故事成語を理解し、思考や表現に効果的に活用できる。		類義語・対義語・常用漢字・故事成語を理解し、思考や表現に適切に活用できる。		類義語・対義語・常用漢字・故事成語を理解し、思考や表現に活用できる。	
到達目標3	ビジネス敬語の基礎を理解し、即応的に適切に使用できる。		ビジネス敬語の基礎を理解し、適切に使用できる。		ビジネス敬語の基礎を理解し、使用できる。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 C-2						
教育方法等						
概要	科学技術に関するものを含む広範囲な日本語を対象に、より高度な理解、柔軟な発想・思考、豊かな口頭表現を含む効果的なコミュニケーションや主体的な表現ができることを目的とする。					
授業の進め方・方法	授業は、表現に関する実践を基本とする。また、社会を見つめる視野拡大の起点を獲得し、社会的データの活用や漢字学習により理解・表現の力を培う。 授業課題として、授業VTR視聴とレポート（オンラインを含む）を課す。 【授業時間30時間】					
注意点	毎時間の冒頭に「読書の時間」を設けるので、各自で本を用意すること（マンガ、雑誌、テキストを除く）。LMSの活用環境を整備しておくこと。					
授業の属性・履修上の区分						
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 情報の信頼性	シラバスにより、到達目標、評価割合、達成度基準等を理解する。 情報の信頼性について、実例を挙げて説明できる。		
		2週	情報の収集と分類	ブレイン・ストーミング法とKJ法とを用いて、情報（アイデア）を収集し整理できる。		
		3週	スピーチ	非言語表現に留意して使用して、スピーチできる。		
		4週	プレゼンテーション①	四段構成を使用して、意見を執筆できる。		
		5週	プレゼンテーション②	表題・グラフ・考察からなるプレゼンテーション構成シートを作成できる。		
		6週	プレゼンテーション③	構成シートを使用して、プレゼンテーションできる。		
		7週	プレゼンテーション④	リモートによるブレインストーミングの留意点を具体的に説明できる。		
		8週	故事成語、四字熟語、漢字とかな	故事成語や四字熟語の内容を、実社会と結びつけて説明できる。漢字やかなの成り立ちを説明できる。		
	2ndQ	9週	短歌	短歌の基礎を理解し作成できる。		
		10週	俳句・川柳	俳句・川柳の基礎を理解し作成できる。		
		11週	ビジネス敬語（慣用表現・クッション言葉）	ビジネス敬語の基礎（慣用表現・クッション言葉）を理解し実践できる。		
		12週	ビジネス敬語（電話対応基礎）	ビジネス敬語の基礎（電話対応基礎）を理解し実践できる。		
		13週	ビジネス敬語（クレーム対応）	ビジネス敬語の基礎（クレーム対応）を理解し実践できる。		
		14週	通信文	通信文の基本を理解し作成できる。		
		15週	記録（報告書）	報告書の基本を理解し作成できる。		
		16週	答案返却	学習のまとめ		
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	前9, 前10, 前11, 前16

			類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	前6,前7,前9,前10,前11
			社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	前6,前7
			専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	前4,前5,前9,前10,前11,前15
			報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	前1,前4,前8,前9,前10,前11,前15,前16
			収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	前1,前4,前5,前8,前9,前10,前11,前15,前16
			報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	前4,前5,前8,前9,前10,前11,前15,前16
			作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	前3,前4,前5,前8,前9,前10,前11,前15
			課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	前2,前8,前9,前10,前11,前15
			相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	前2,前7,前8,前9,前10,前11,前15
			新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	前2,前8,前9,前10,前11,前15

評価割合

	中間・期末試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	合計
総合評価割合	40	0	50	10	0	100
基礎的能力	40	0	50	5	0	95
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	5	0	5